



令和6年度

東北医科薬科大学大学院医学研究科
医学専攻博士課程

学生募集要項

【一般入学試験/社会人入学試験】

目 次

1. 東北医科薬科大学大学院医学研究科の基本理念・・・・・・・・・・ P2
2. 募集定員及び募集領域・学問分野・・・・・・・・・・ P3
3. 出願資格・・・・・・・・・・ P4
4. 出願手続・・・・・・・・・・ P4
5. 入学者の選抜方法・・・・・・・・・・ P7
6. 入学手続等・・・・・・・・・・ P7
7. 本研究科の教育課程・・・・・・・・・・ P8
8. 出願にあたってのQ&A・・・・・・・・・・ P9
9. 問い合わせ先・・・・・・・・・・ P9

1. 東北医科薬科大学大学院医学研究科の基本理念

本研究科がめざすもの

東北医科薬科大学医学研究科医学専攻博士課程は、地域社会と共に生きる豊かな人間性と高い倫理観を備えつつ、高度な専門的視野と論理的思考能力を持って医学・生命科学を発展させ、持続可能な地域社会の構築に貢献する強い使命感を持った人材を育成することを主たる目的とする。

○ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本研究科において学位を取得するために習得すべき能力は以下の4点です。

- (1) 【地域貢献】医学・生命科学研究者または高度専門職業人として、強い使命感のもと、地域社会の発展に貢献できる。
- (2) 【地域医療の理解と課題発見・解決力】豊かな人間性及び高い倫理観に加え、地域社会との関わりを通じた地域医療の深い理解に基づき、医療が抱える諸問題を発見し解決できる。
- (3) 【論理的思考能力・研究力】幅広い専門的知識・技能と論理的思考能力を持って、研究を遂行できる。
- (4) 【知見・技能の創造力】医学・生命科学に関わる新たな知見・技能を創造できる。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- (1) 生命倫理及び研究倫理、研究デザインや基本的な研究方法、統計解析、英語による情報の収集と発信などの研究の基盤となる知識や能力を修得する。これらの知識や能力は、共通科目及び専門科目の特別研究科目を通じて修得する。
- (2) 豊かな人間性と高い倫理観及び地域社会との関わりを通じて、地域医療の現状と課題を本質的に理解・洞察する力とその課題解決を通じて地域社会の発展に寄与する使命感を醸成する。この理解・洞察力及び使命感は、共通科目及び専門科目の特別研究科目を通じて醸成する。
- (3) 高度・先進的な知識・技能を深く学び、研究の展開・考え方、研究倫理・生命倫理の順守、理論的思考力や幅広い専門的視野を身につける。これらの知識・技能等は、専門科目の特論科目と特別研究科目を通じて身につける。
- (4) 質の高い研究を、他者と協力しながら、自立的に実践し論文作成及び発表に必要とされる基本的な能力（課題発見、研究計画立案、データの解析と考察、発表など）を修得する。これらの能力は、専門科目の演習科目と特別研究科目を通じて修得する。
- (5) 自立的に研究を遂行・展開し、新たな知見・技能を創造できる能力を修得する。これらの能力は、専門科目の特別研究科目を通じて修得する。
- (6) 上記の5つのカリキュラムポリシーに基づく教育を通じて、ディプロマポリシーで掲げる4つの能力を身に付けているかを、試験やレポート、グループ討論・発表・質疑応答の態度や内容及び研究論文の完成度等により総合的に評価を行う。

○アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

- (1) 本学の建学の精神と教育理念を理解し、医学・医療の高度で知的な素養を身につけ、主体性を持って多様な人々と協働して社会に貢献する強い意志を有する者を対象とします。
- (2) 医学が人間とその生命に深く関わる学問であり、広い視野と豊かな人間性・倫理観が求められることを強く自覚している者を対象とします。
- (3) 自らが目指す研究領域あるいは医療領域で高度な知識・技能を学ぶための基礎学力と英語力を有し、大学院における研究及び修練に積極的に取り組む強い意志を有する者を対象とします。

2. 募集定員及び募集領域・学問分野

○募集定員 10名

○募集領域・学問分野

(1) 基礎医学領域

(諸疾患の病態を生命科学的に解析し、その成果の臨床応用を目指す研究領域)

学問分野	細胞生物学、組織解剖学、生理学、神経科学、薬理学、病理学、医化学、微生物学、免疫学、放射線基礎医学
------	---

(2) 臨床医学領域

(新たな診断・治療法の開発および臨床応用を目指す研究領域)

学問分野	循環器内科学、呼吸器内科学、消化器内科学、糖尿病代謝内科学、腎臓内分泌内科学、血液学、臨床免疫学、脳神経内科学、腫瘍内科学、精神科学、小児科学、肝胆膵外科学、消化器外科学、呼吸器外科学、乳腺・内分泌外科学、心臓血管外科学、脳神経外科学、皮膚科学、耳鼻咽喉科学、産婦人科学、泌尿器科学、形成外科学、放射線医学、臨床検査医学、免疫アレルギー病態学
------	---

(3) 社会地域医学領域

(地域医療が抱える課題を、医療的側面と社会的側面から、その相互作用も含めて解決を目指す研究領域)

学問分野	地域医療管理学、疫学、法医学、地域医療学、整形外科学、リハビリテーション学、感染症学、腫瘍疫学
------	---

3. 出願資格^{※1}

- (1) 大学（医学、歯学、獣医学又は薬学のうち、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする修業年限6年の学部又は学科に限る。）を卒業した者。（令和6年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 修士^{※2}の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下この条において同じ。）を授与された者。（令和6年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）^{※3}
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。（令和6年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）^{※3}
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。（令和6年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）^{※3}
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。（令和6年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む）^{※3}
- (6) 文部科学大臣の指定した者^{※3}
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者で、令和6年4月1日時点で24歳に達した者^{※4}

※1 志願者は、希望する学問分野の責任者に必ず事前に相談してください。連絡先については「9. 問い合わせ先」をご参照ください。

※2 看護学など医療関連、薬学、農学、理学、工学等の修士の学位。

※3 (2)～(6)に該当する場合は、事前に「9. 問い合わせ先」まで連絡ください。

※4 出願資格(7)に該当する場合には個別の出願資格審査を行うので、原則出願締切の1ヵ月前までに「9. 問い合わせ先」に連絡のうえ、指示に従ってください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日
一次募集	一般入学試験 ^{※2}	令和5年10月2日（月） ～令和5年10月16日（月）	令和5年10月27日（金）	令和5年11月16日（木）
	社会人入学試験 ^{※3}			
二次募集 ^{※1}	一般入学試験 ^{※2}	令和6年1月5日（金） ～令和6年1月15日（月）	令和6年1月26日（金）	令和6年2月9日（金）
	社会人入学試験 ^{※3}			

※1 二次募集では教室受入れ定員の都合により、特定の分野において募集を行わない場合がありますので、必ず出願前に「9. 問い合わせ先」までご連絡ください。

(3) 提出書類に関する注意事項

- ① 出願書類は東北医科薬科大学ホームページよりダウンロードしてください。
- ② 志願者は、希望分野の責任者に必ず事前に相談すること。アポイントが必要な場合は「9. 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ③ 志願票の志望領域及び分野記入欄は希望分野も責任者に事前相談の上記入してください。
- ④ 出願書類について不明な点は「9. 問い合わせ先」まで連絡してください。

(4) 出願書類提出（送付）先

東北医科薬科大学 医学部事務部教務課
〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15-1
Tel:022-290-8849

郵送の際は必ず書留郵便とし「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。

持参の場合の受付時間は平日午前9時から午後5時までとなります。

なお、本学では必要書類一式を電子媒体で提出することが可能です。その場合、下記 URL にアクセスいただき、必要書類を所定の期間内にアップロードしてください。

なお、アップロードは一度のみしかできませんので、提出前に内容をよく確認してください。

URL: https://polr.tohoku-mpu.ac.jp/2024DR_examination

(5) 個人情報の取り扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。

出願及び入学手続きにあたって提供された個人情報は、入学試験の実施、合否判定、合格発表、入学手続き、入学後の履修関係、学籍関係及び学生生活において必要な業務において使用します。

本学が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合や、秘密保持契約等の契約を締結した業者に資料発送等の業務を委託する場合以外に、本人の承諾無しに第三者へ開示・提供することはありません。

(6) 障がいのある入学志願者について

本学に入学を希望する者で、身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障がいの程度）があり、受験及び就学上において特別な配慮を必要とする者は、出願前に「9. 問い合わせ先」までご相談ください。

5. 入学者の選抜方法

筆記試験（語学（英語）・基礎学力）、面接試験を実施し、その結果及び志望理由書、最終学歴の成績証明書を総合的に評価して合否を判定します。

試験日	時間	科目	試験場
(一次募集) 令和5年10月27日(金)	9:30~10:30 (60分)	語学（英語）	東北医科薬科大学 福室キャンパス 〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区 福室1丁目15-1
	11:00~12:00 (60分)	基礎学力	
	13:00~	面接	
(二次募集) 令和6年1月26日(金)			

6. 入学手続等

入学試験に合格した方には、合格通知書および入学手続きに関する書類を、合格発表日の翌日に郵送します。書類を受け取りましたら、次の表の期間内に入学手続きを行ってください。

区分	合格発表日	入学手続期間
一次募集合格者	令和5年11月16日（木）	令和5年11月20日（月）～令和5年11月30日（木）
二次募集合格者	令和6年2月9日(金)	令和6年2月13日（火）～令和6年2月29日（木）

なお令和6年度入学者の納付金は以下の通りです。

納付金の種類	金額	摘要
入学金	200,000円	入学時のみ納入
授業料	400,000円	年額

7. 本研究科の教育課程

授 業 科 目			講 義 区 分	単 位 数	必 修	選 択	
共通科目		生命倫理・研究倫理概論	講 義	2	○		
		研究方 法 概 論	講 義	1	○		
		医学統計学・医学統計演習	演 習	1	○		
		医学英 語	講 義	1	○		
		地域医学総論	講 義	2	○		
		地域医学各論	講 義	1		○	
		橋渡し研究・臨床試験各論	〃	1		○	
専門科目	特論科目	基礎医学領域	細胞生物学特論	講 義	2		○
			組織解剖学特論	〃	2		○
			生理生 理学特論	〃	2		○
			神経科学特論	〃	2		○
			薬理科学特論	〃	2		○
			病理学特論	〃	2		○
			医 学 化 学 特 論	〃	2		○
			微生物学特論	〃	2		○
			免疫学特論	〃	2		○
		放射線基礎医学特論	〃	2		○	
		臨床医学領域	循環器内科学特論	講 義	2		○
			呼吸器内科学特論	〃	2		○
			消化器内科学特論	〃	2		○
			糖尿病代謝内科学特論	〃	2		○
			腎臓内分泌内科学特論	〃	2		○
	血液学特論		〃	2		○	
	臨床免疫学特論		〃	2		○	
	脳神経内科学特論		〃	2		○	
	腫瘍内科学特論		〃	2		○	
	精神科学特論		〃	2		○	
	小児科学特論		〃	2		○	
	肝胆膵外科学特論		〃	2		○	
	消化器外科学特論		〃	2		○	
	乳腺・内分泌外科学特論		〃	2		○	
	心臓血管外科学特論		〃	2		○	
	脳神経外科学特論		〃	2		○	
	皮膚科学特論		〃	2		○	
	耳鼻咽喉科学特論		〃	2		○	
	産婦人科学特論	〃	2		○		
	泌尿器科学特論	〃	2		○		
	形成外科学特論	〃	2		○		
	放射線医学特論	〃	2		○		
	臨床検査医学特論	〃	2		○		
	免疫アレルギー病態学特論	〃	2		○		
	社会地域医学領域	地域医療管理学特論	講 義	2		○	
		疫 学 特 論	〃	2		○	
		法 医 学 特 論	〃	2		○	
		地域医療学特論	〃	2		○	
		整形外科学特論	〃	2		○	
		リハビリテーション学特論	〃	2		○	
	演習科目	基礎医学領域	基礎医学演習	演 習	2		○
		臨床医学領域	臨床医学演習	演 習	2		○
社会地域医学領域		社会地域医学演習	演 習	2		○	
特別研究科目		特別研究Ⅰ	演 習	4	○		
		特別研究Ⅱ	演 習	4	○		
		特別研究Ⅲ	演 習	4	○		
		特別研究Ⅳ	演 習	4	○		

下記の科目により合計 30 単位以上を修得しなければならない。

- ・ 共通科目：必修 5 科目 7 単位と選択必修 1 科目 1 単位を含み 6 科目 8 単位以上
- ・ 特論科目：主として専攻する領域の 1 科目 2 単位（主科目）と主として専攻する領域及び他の領域の 1 科目 2 単位（副科目）以上を含み 2 科目 4 単位以上
- ・ 演習科目：特論科目（主科目）と同一領域の 1 科目 2 単位を含み 1 科目 2 単位以上
- ・ 特別研究科目：必修 4 科目 16 単位

8. 出願にあたってのQ&A

Q1 医師免許を持っていませんが、出願は可能ですか？

A1 可能です。なお、本学で学びたい内容に応じた履修科目の選択等、ご相談も随時承っております。

Q2 現在社会人として病院に勤務中ですが、出願は可能ですか？

A2 可能です。入学後も社会人としての身分を有し、勤務先の所属長より受験及び就学の許可を受けた方は社会人入学試験に出願できます。入学後は社会人でも履修しやすいよう、オンデマンド授業や昼夜開講制度、長期履修制度を備えております。また、学外からの図書館利用を可能とする学習環境も整備しています。履修スケジュールのご相談等、ぜひお気軽にお問い合わせください。

Q3 出願資格（7）に該当する場合の「個別の入学資格審査」とはどのような審査ですか？

A3 個々人の学修歴、研究歴、業績等から、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があるか否かを判断する審査です。なお、個別の入学資格審査はあくまで入学資格の有無にかかわる審査であり、入学者選抜とは別個のもので、この審査に合格した後に更に入学試験受ける必要があります。

Q4 入学者の選抜方法の「基礎学力試験」は、どのような試験ですか？

A4 必修共通科目（カリキュラムマップ参照）を学ぶための基礎的な学力を問う試験です。

Q5 希望する学問分野の教員に相談をしたいのですが、どのようにすれば良いですか？

A5 東北医科薬科大学医学部事務部教務課へご連絡ください。（電話 022-290-8849）

Q6 専門医取得と大学院との両立は可能ですか？

A6 可能です。もちろん、医師としての勤務とのバランスを取りながらの研究活動となりますので、履修スケジュールや方法等については、あらかじめご相談ください。

Q7 在学生を対象とした奨学金等の支援制度はありますか？

A7 入学後、日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学ティーチング・アシスタント、リサーチアシスタント制度に応募することが出来ます。詳細は医学部事務部教務課へご相談ください。
（電話 022-290-8849）

9. 問い合わせ先

〒983-8536

宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15-1

東北医科薬科大学 医学部事務部教務課

TEL: 022-290-8849 FAX: 022-290-8860

MAIL: med-daigakuin★tohoku-mpu.ac.jp

※メールでの問い合わせの際は★を@に変えてください。